

「ペットの防災対策及び所有者明示」と「文化・生涯学習振興」に関するアンケート

実施概要

担当部局	実施期間	対象者数	回答者数	回答率
文化振興課	2021年12月14日から 2021年12月28日まで	1180	746	63%

今回は、食品安全課と文化振興課からのアンケートです。

はじめに、食品安全課からお聞きします。

動物の愛護及び管理に関する法律の改正内容を反映させるとともに、動物愛護に関する社会環境等の変化を踏まえ、令和3年3月に「第3次三重県動物愛護管理推進計画」を策定しました。

この計画に基づく取組の効果やニーズの調査を行うことにより、現状の課題整理を行う資料として活用します。

つぎに、文化振興課からお聞きします。

県では、「新しいみえの文化振興方針」（平成26年11月策定）に基づき、「文化にふれ親しみ、創造する機会の充実」と「学びとその成果を生かす場の充実」に取り組んでいます。

今後の「新しいみえの文化振興方針」の推進にあたっての参考意見とするとともに、その評価に役立てるためアンケートを実施しますので、ご協力をお願いします。

■ Q1 ペットについて

はじめに、食品安全課からお聞きします。

あなたはどんなペットを飼っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。「飼っていない」と回答された方はQ6へお進みください。

合計	746	
犬	121	16.2%
猫	75	10.1%
鳥	15	2.0%
爬虫類	9	1.2%
その他	55	7.4%
飼っていない	498	66.8%

■ Q2 ペットの防災対策について 1

ペットの防災対策をしていますか。「いいえ」と回答された方はQ5へお進みください。

合計	248	
はい	74	29.8%
いいえ	174	70.2%

■ Q3 ペットの防災対策について 2

Q2で「はい」と回答された方にお聞きます。どんな防災対策をしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	74	
人やペットがケガをしないよう、家具の固定や転倒防止対策をしている	34	45.9%
避難所での生活に備え、基本的なしつけと各種ワクチンやノミダニ駆除をしている	43	58.1%
万一、ペットとはぐれてしまったときに備え、マイクロチップやそれ以外の方法（迷子札）などで所有者明示をしている	23	31.1%
避難用のキャリーバックやフード・水などを備蓄している	49	66.2%
ペットを連れての避難に備え、ハザードマップや避難場所までのルートを確認をしている	11	14.9%
普段から、ペットの避難方法や集合場所を、家族で話し合っている	17	23.0%
親戚宅や友人宅など、ペットの一時的な避難場所を確保している	13	17.6%
その他	2	2.7%

■ Q4 ペットの防災対策について 3

ペットのための防災対策をしようと思ったきっかけを教えてください。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	74	
テレビのニュースや新聞、雑誌等の記事を見て	48	64.9%
ペットのための防災対策を実施している知人等の話を聞いて	11	14.9%
被災経験を持つ知人等の体験談を聞いて	2	2.7%
防災関連のセミナーに参加して	5	6.8%
SNSやブログ等を見て	12	16.2%
「あすまいる」で災害に関する展示を見たり、職員の話の聞いたりして	4	5.4%
その他	18	24.3%

■ Q5 ペットの所有者明示について

飼われているペットにマイクロチップを装着していますか。

合計	248	
装着している	40	16.1%
装着していない	208	83.9%

■ Q6 文化体験・鑑賞等に対する認識について

ここからは、文化振興課からお聞きします。
日常生活の中で、優れた文化芸術を体験・鑑賞したり、自ら文化芸術を実践することをどのように思いますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

合計	746	
非常に大切	199	26.7%
ある程度大切	428	57.4%
あまり大切でない	42	5.6%
全く大切でない	7	0.9%
わからない	70	9.4%

■ Q7 これまで行ったことのある県立文化施設について

あなたは、県立文化施設である次の施設を訪れたことがありますか。（施設外で実施される出前講座等への参加を含みます。）訪れたことがあるものをすべて選んでください。

合計	746	
三重県文化会館	435	58.3%
三重県立図書館	299	40.1%
三重県総合博物館（MieMu）	350	46.9%
三重県立美術館	335	44.9%
斎宮歴史博物館	223	29.9%
三重県生涯学習センター	146	19.6%
男女共同参画センター（フレんてみえ）	144	19.3%
行ったことのある施設はない	138	18.5%

■ Q8 鑑賞・観覧もしくは自ら実践した文化芸術のジャンルについて 1

あなたが最近、鑑賞・観覧したり、自ら実践した文化芸術のジャンルは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	746	
文学	128	17.2%

音楽	331	44.4%
美術	239	32.0%
写真	123	16.5%
演劇	76	10.2%
舞踊	24	3.2%
メディア芸術（映画、漫画、アニメーション等）	276	37.0%
伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊等）	53	7.1%
芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱等）	109	14.6%
生活文化（茶道、華道、書道等）	69	9.2%
地域の伝統的芸能や祭り	62	8.3%
国民娯楽（囲碁、将棋等）	37	5.0%
歴史・文化（歴史資料、文化財の鑑賞・保存・活用等）	186	24.9%
自然（動物、植物、鉱物、化石等）	193	25.9%
その他	7	0.9%
鑑賞・観覧、実践していない	142	19.0%

■ Q9 鑑賞・観覧もしくは自ら実践した文化芸術のジャンルについて 2

Q8で「鑑賞・観覧、実践していない」と回答された方にお聞きます。その理由は何ですか。あてはまるものを1つ選んでください。

合計	142	
興味はあるが、魅力的な展覧会や公演、講座がない。または、実践する場がない	20	14.1%
興味はあるが、コロナ禍のため鑑賞・観覧、または実践することができなかった(休演・中止を含む)	60	42.3%
興味がない	53	37.3%
その他	9	6.3%

■ Q10 三重県に対する誇りや愛着について

あなたは、三重県にある全国的あるいは国際的に誇ることができる歴史的資産等（※）について、愛着を感じることができると感じますか。あてはまるものを1つ選んでください。

※「歴史的資産等」・・・伊勢神宮や熊野古道、世界から評価される偉人（俳聖「松尾芭蕉」、日本人の世界観・価値観を探究した「本居宣長」、世界で初めて真珠養殖を成功させた「御木本幸吉」、北海道の命名者「松

浦武四郎」、映画監督の「市川崑」など)のほか、各地域で継承されている伝統的な芸能・祭り・行事や文化財などの歴史的な資産、地域独特の言葉遣いや衣服、食べ物、習慣などをいいます。

合計	746	
そう思う	338	45.3%
どちらかといえばそう思う	334	44.8%
どちらかといえばそう思わない	61	8.2%
そう思わない	13	1.7%

■ Q11 文化芸術活動への支障について

文化芸術を鑑賞・観覧、もしくは実践するうえで支障となっていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

合計	746	
忙しくて時間が取れない	299	40.1%
魅力的な展覧会や公演・講座がない	209	28.0%
他にやりたいことがある	127	17.0%
文化に関する情報が少ない	164	22.0%
費用がかかりすぎる	168	22.5%
活動、練習するための場所・施設がない	76	10.2%
指導者がいない(足りない)	45	6.0%
年齢や障がいにより活動できない	17	2.3%
特に支障はない	98	13.1%
わからない	45	6.0%
その他	44	5.9%

■ Q12 文化芸術を生かしたら良いと思う分野について

あなたは、文化芸術をどのような分野に生かしたら良いと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	746	
観光	483	64.7%
まちづくり(地域の活性化)	443	59.4%
国際交流	158	21.2%
福祉	58	7.8%

教育	310	41.6%
子育て	148	19.8%
経済・産業	127	17.0%
スポーツ・健康増進	50	6.7%
その他	3	0.4%
わからない	28	3.8%

■ Q13 今後県が力を入れるべき文化施策について

あなたは、県は今後どのような文化振興施策に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

合計	746	
魅力ある展覧会や公演、講座等を開催すること	298	39.9%
学校教育における文化芸術や伝統文化の学習機会を充実すること	308	41.3%
文化を担う人材を育成支援すること	208	27.9%
年齢や障がいの有無にかかわらず文化芸術活動を行える環境の整備	116	15.5%
文化施設など文化資源の観覧等を通じて文化についての理解を深めることを目的とした観光の推進	132	17.7%
地域の伝統的文化が継承され、より多くの人に親しまれるようにすること	214	28.7%
文化財が適切に保存・継承されるとともに、地域において活用されるようにすること	191	25.6%
県内外の文化施設と連携することにより、県立の文化施設の魅力を一層高めること	69	9.2%
文化芸術に関する情報の発信を強化すること	107	14.3%
自宅でも文化施設を楽しめる動画やデジタル技術を活用した取組を推進すること	90	12.1%
その他	11	1.5%
わからない	33	4.4%